



IELTS Training Center





1、ミッション

優秀なスタッフ、講師の質、学生ケアの充実です。これら3つの経営資源を最高に高め、最良のサービスを提供し、毎日の満足と確実な成果をお届けします。

2、スタッフ

そのために私達は、お客様に信頼して頂ける最高の知識とサービスを身に付け、人生を磨き、英語のプロになると共に、自身の人生の自己実現にもつなげます。

3、ビジョン

高品質なサービスを提供し続けるため、世界初の学校を開校し、世界で羽ばたく人にはなくてはならない学校になります。

あなたは、理想や夢だけでなく現実を受け入れられますか。

あなたは、今までの事を180度変えられる勉強へのチャレンジはできますか。

あなたは、何としても目標を達成するこだわりはありますか。

IELTSトレーニングセンターではテストの結果・個々の目標・目的に一步でも早く到達し、IELTSのスコアアップはもちろんの事、急速にグローバル化している世界の中で十分通用するコミュニケーション能力をもった人材を育成することにいささかでも貢献できればと願っております。

4、学校情報



CEBU ENGLISH ACADEMY

学院正式名称	IELTS トレーニングセンター		
住所	Pacific Sq. Building C, F. Cabahug St. Mabolo Cebu City, Philippines		
空港からの距離	マクタン空港まで車で約30分	認可	SSP認定学校 AFF 04-175 / フィリピン 文科相 TESDA登録学校
設立年度	2015年	学生定員	25名
国籍比率	日本、韓国、台湾、フィリピン	日本人スタッフ	在籍
付帯施設	食堂、休憩室、自習室、カフェ、指定場所WIFI、Bar(03月オープン予定)、洗濯(徒歩圏内のランドリーへ; 100ペソ/3kg)、清掃;週2回、コンビニ(同建物内)、銀行(同建物内)		

5、IELTSトレーニングセンターの特徴



・IELTS専門校

世界初のIELTS専門語学学校です。

・フィリピン最多の1日13コマIELTS専門授業

フィリピン最多のIELTS専門授業を1日13コマ受講していただけます。

・高度な英語力とともにIELTS試験対策知識に通じていて、数ヶ月にわたる研修過程を修了したIELTS専門講師

研修修了後も、トレーニングは行われており、講師もトレーニングの一環として毎月IELTS模擬試験を受けています。

・選び抜かれた教材、IELSTトレーニングセンターオリジナルハンドブック

学生のレベルに合わせたIELSTトレーニングセンターオリジナルのテスト対策法を紹介したハンドブックを1人1人に配布するので、自習の時間でもハンドブックからたくさんの対策力を身につけられます。

・毎週金曜日に行われる模擬試験

模擬試験の後のレビューでは、IELTS分野ごとの専門講師と結果を分析し、明らかになった自分の弱点を補う勉強ができます。

・担当講師と行われるマンツーマン授業

同じ講師が担当するからこそわかる弱点を毎日学生にフィードバックを行うことで、英語上達に導きます。

・バディティーチャーシステム

IELTSを担当する専門講師がバディティーチャーとして、入学した日から卒業まで学生をサポートします !!

6、カリキュラム



・月曜～木曜日

マンツーマン 45分×4. 1:10グループ 45分×4. 1:10グループ 模擬試験×2
早朝授業 45分×1. 夜間授業 45分×1. 義務自習45分×2

マンツーマン 45分×4

グループ 45分×4

模擬試験×2

朝夜授業×2

義務自習×2

・金曜日

模擬試験×4 テストレビュー ×4 早朝授業 45分×1. 夜間授業 45分×1.

模試試験×4

テストレビュー×4

朝夜授業×2

・土曜日

グループ45分×3

グループ 45分×3



7、月曜日～木曜日スケジュール

IELTSトレーニングセンターの12週間プログラムは、高度な英語力とともにIELTS試験対策知識に通じていて、数ヶ月にわたる研修過程を修了したIELTS専門講師によって作られています。目標スコアを達成するだけでなく、英語のレベルを上げ、自信をもって英語を話せるようになるよう、全力でサポートします。

IELTSトレーニングセンターでは、1日に8時間ものIELTS専門授業を英語で受けることで、目標スコアを達成するために必要な、対策力と英語力を養います。

時間	内容	時間	内容
6:45-7:20	早朝授業(参加自由)	12:00 - 1:00	昼食
7:00-8:00	朝食	1:00 - 2:30	グループ:リスニング
8:00- 8:45	マンツーマン:スピーキング	2:30 - 2:50	グループ:リスニング 模擬試験
8:45-8:50	休み時間	2:50 - 2:55	休み時間
8:50-9:35	マンツーマン:スピーキング	2:55 - 4:35	グループ:リーディング
9:35- 9:40	休み時間	4:35 - 4:40	休み時間
9:40-10:25	マンツーマン:ライティング	4:40 - 5:40	グループ:リーディング 模擬試験
10:25- 10:30	休み時間	5:40 - 6:00	夕食
10:30-11:15	マンツーマン:ライティング	6:00 - 6:45	夜間授業(参加自由)
11:15 - 11:20	休み時間	6:55 - 7:35	義務自習
11:20 - 12:05	義務自習		

8、金曜日スケジュール



IELTSテストを受けるシミュレーションとして、毎週金曜日に模擬試験が行われます。模擬試験は、学生の実力を評価することに効果的です。現在の英語力と目標スコアとの差を知ることができ、改善する必要がある分野を知ることによってIELTS対策を効率的に進めることができます。リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの各パートの技能をくまなく測定し、実際のIELTSに近い精度で結果を知ることができ、模擬試験の後のレビューでは、IELTS分野ごとの専門講師と結果を分析し、明らかになった自分の弱点を補う勉強ができます。

時間	内容	時間	内容
6:45~7:30	早朝授業(参加自由)	12:00-1:00	昼食
7:00~8:00	朝食	1:00-3:00	スピーキングテスト (テストの時間は案内されます。)
8:30-8:55	登録: IELTS模擬試験のための準備	3:00-3:15	休み時間
8:55-9:00	テスト用紙、回答用紙の配布	3:15-3:45	講師はコンサルテーション
9:00-9:30	リスニングテスト	3:45-4:15	テストレビュー: リスニング
9:35-9:40	テスト用紙、回答用紙の配布	4:15-4:45	テストレビュー: リーディング
9:40-10:40	リーディングテスト	4:45-5:15	テストレビュー: ライティング
10:40-10:45	テスト用紙、回答用紙の配布	5:15-6:00	テストレビュー: スピーキング
10:45-11:45	ライティングテスト	6:00-6:45	夕食
11:45-12:00	休み時間		フリータイム

9、レベル



IELTSのテスト結果は合否ではなく 1.0から9.0のバンドスコアで示されます。

	レベル基準
Expert User	十分に英語を駆使する能力を有している。適切、正確かつ流暢で、完全な解力もある。
Very Good User	時折、非体系的な不正確さや不適切さがみられるものの、十分に英語を駆使する能力を有している。慣れない状況においては、誤解が生ずる事もありえる。込み入った議論に、うまく対応できる。
Good User	時折、不正確さや不適切さがみられ、また状況によっては誤解が生ずる可能性もあるが、英語を駆使する能力を有している。複雑な言語も概して上手く扱っており、詳細な論理を理解している。
Competent User	不正確さ、不適切さ、および誤解がいくらか見られるものの、概して効果的に英語を駆使する能力を有している。時に、慣れた状況においては、かなり複雑な言語を使いこなすことができる。
Modest User	部分的に英語を駆使する能力を有しており、大概の状況において全体的な意味をつかむことができる。ただし、多くの間違いを犯すことも予想される。自身の分野においては、基本的なコミュニケーションを行うことができる。
Limited User	慣れた状況においてのみ、基本的能力を発揮できる。理解力、表現力の問題が頻繁にみられる。複雑な言語は使用できない。
Extremely Limited User	非常に慣れた状況において、一般的な意味のみを伝え、理解することができる。コミュニケーションが頻繁に途絶える。
Intermittent User	確実なコミュニケーションを行うことは不可能。慣れた状況下で、その場の必要性に対処するため、極めて基本的な状況を単語の羅列や短い定型句を用いて伝えることしかできない。英語による会話、および文章を理解するのに非常に苦勞する。
Non User	いくつかの単語を羅列して用いることしかできず、基本的に英語を使用する能力を有していない。

10、授業風景



1:1授業



1:8ディベート授業



朝夜授業

11、外觀



外觀



外觀



日本食



銀行



日本食

12、学校施設



13、学校施設



寮



休憩室



食堂



寄宿舍

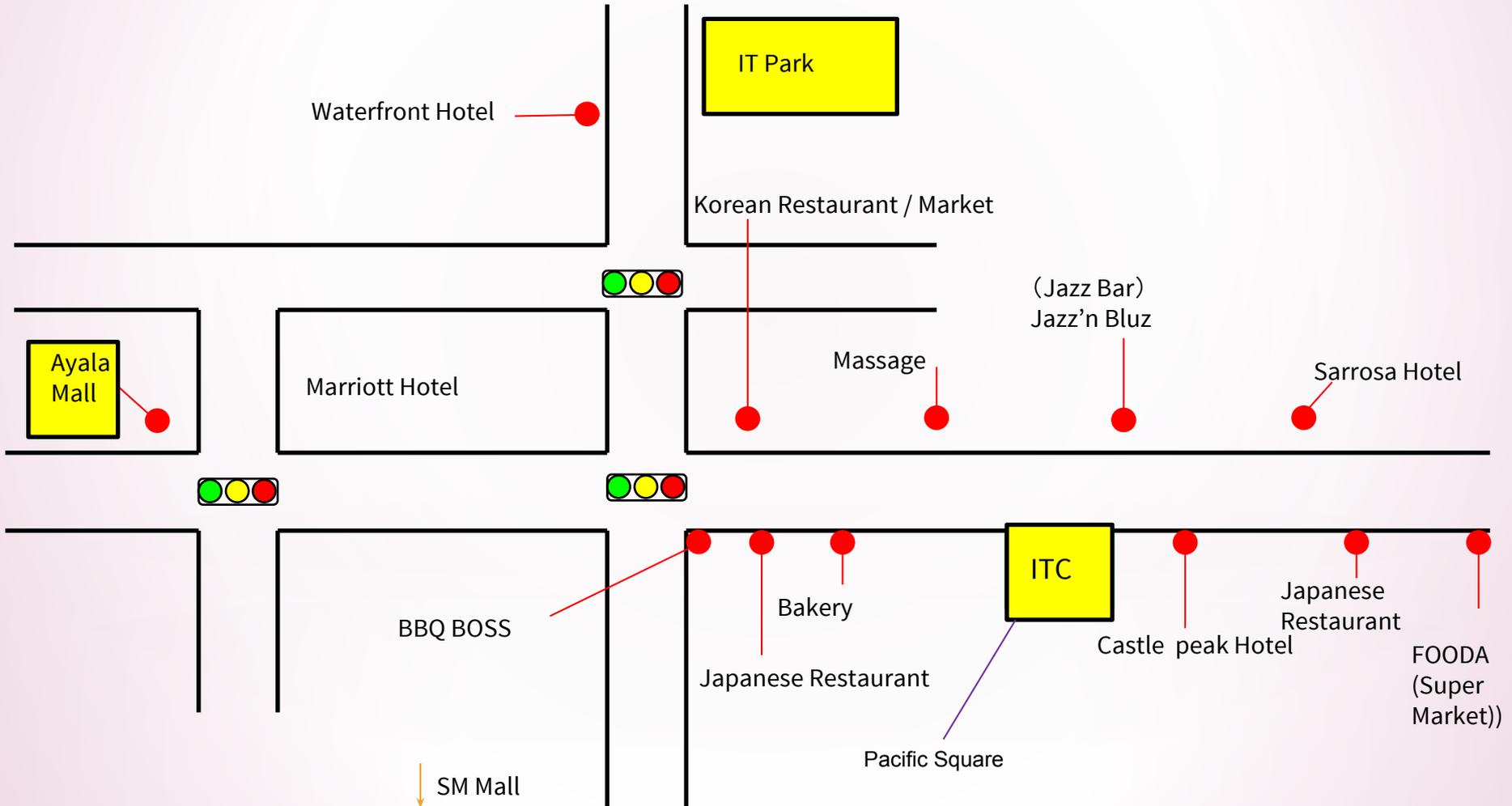


寄宿舍

14、アクティビティー



15、学校周边地图



16、学校ルール



ルール

学校ルール

【禁止事項】

- 学校敷地内での飲酒(アルコールの学校敷地内持ち込みも禁止)
- 異性の部屋への出入り
- 無断外泊
- 喫煙所以外での喫煙、または、火事が起こりえる行為
- 他の滞在者への暴言・暴力・その他あらゆる迷惑行為
- 講師との恋愛・カジノへの出入り

※違反した場合は1週間の外出禁止、または、即日退学処分となる場合があります。

【コース変更に関して】

各コース変更はプログラム開始日に準じ、中間入学日(週途中など)でのコース変更はできません。コースのアップグレードに関しては、差額を支払うことにより変更可能です。1:1授業を自らの意志で削ることはできますが、受講の有無に関わらず返金対象にはなりません。

【その他】

- 授業は月～金に提供されます。(祝日を除く)
- 週半ばの祝日は効率的な授業提供のため、金曜日にスライドする場合があります。
- 入学初日の月曜日(月曜祝日の場合は火曜日)はテストとオリエンテーションのため、授業は行われません。但し、2週間未満の短期の方は、希望者には初日から授業を受講することができます。
- フィリピン政府より発令された祝日には授業が行われません。
- 土日祝日に追加授業を現地にて希望される場合、教師のスケジュール都合で授業が提供できない場合があるため、ご希望に添えない可能性があります。•自習室及び校内施設の利用は、24時間利用可能です。

17、キャンセル規定



キャンセル規定

- a. 留学開始31日前まで
登録金 + \$500
- b. 留学30日前～14日前まで
留学費用の30% + \$500 + 登録金
- c. 留学13日前～留学前日まで
留学費用の50% + 登録金
- d. 留学当日
留学代金の70% + 登録金
- e. 留学当日の無連絡でのキャンセル
留学代金の100%

※但し、キャンセル料金が\$500を下回る場合、下限金額を\$500とし徴収させて頂くものとします。
※登録金はいかなる場合でも返金しかねます。

キャンセル規定

- 留学開始後、留学を中止される場合で、留学残り週間が留学全週間の半分以上残っている場合（例、12週間留学の場合、残週間が6週間以上）に限り、残週間の留学費用（入学金、基本料金、オプションを含む）から、同留学費用の50%、キャンセル手数料\$500 および振込手数料を差し引いた金額を返金させていただきます。（左記の計算結果がマイナスとなった場合は、返金額ゼロとなります）
ただし、規定違反等により退学となった場合には、払い戻しはございませんので、ご了承ください。
- 当校の統制外で起きる事由や、天災地変（台風、停電、地震など）などの不可抗力事由で授業が実施できない場合、当校としては責任・保証は致しかねますので、ご了承ください。
- 個人的理由による授業不参加の場合の払い戻しや再授業はいたしません。
ご自身の都合による授業の欠席などは、いかなる場合でも返金・保障は致しません。
- キャンセルのご連絡は、eメールもしくは電話でのご連絡により、通知を受け取った日をキャンセルの受領日といたします。
- 返金が必要である場合には、振込みにかかる送金手数料、銀行手数料は、お申込者のご負担となります。
それらの費用を差し引いた額を日本円にてお客様の指定口座にお振込みいたします。
返金のお振り込みに関しましては最大30日程度の日数を要しますので、ご了承下さい。
- 何らかの事情で当校に責任が発生し、損害賠償義務を負う場合であっても賠償金額は留学費用として受け取った金額を上限とします。

18、免責事項



免責事項

当校は、以下のような場合には責任を負いません。

- フィリピンの祝日などによる、受講日数の減少(原則、振替授業等を行いません)。
- 申込者がパスポート及び航空券、ビザ等の取得ができず、予定の出発ができない場合。
- 申込者がパスポート及び航空券、ビザ等の不備等、その他何らかの事情により、航空会社による搭乗拒否、出発国による出国拒否、渡航先国に入学拒否をされた場合。交通機関における運行遅延、運行休止等によって発生した損害および日程変更。
- 疫病、天災、戦乱、暴動、交通機関における事故、その他不可抗力の事情により生じる休校等(これに限らない)による損害。
- 渡航先における法令・公序良俗および当校における規則に違反して生じた責任や損害賠償責任。
- 海外渡航におけるすべての活動(交通機関利用、就学、観光、ショッピング、飲食、スポーツなど)において、事故や災害、怪我、疾病、犯罪による損害。
- 渡航方法、渡航先国の情報等の情報提供サービスは、最新の情報に基づいて行っておりますが、渡航先国・航空会社等で諸情報に変更がある場合もあり、申込者がその情報を利用し行動する際の責任。
- 申込者との連絡に使われる電子メールや電話等の障害・特徴に起因して発生した損害に対する責任。